

「目指すべき子ども像・求められる学校像」

を策定しました！

本市の児童生徒たちが様々な社会変化を乗り越え、人生を切り拓き、社会の創り手となるよう、「足利学校のあるまち足利」にふさわしい目指すべき子ども像、そのための求められる学校像を教育理念として令和元(2019)年12月に決めました。あわせて、それらを具現化するために検討すべき学校教育環境を決めました。



子ども達に今後求められる力とは

本編 1P

- ・自立した人間として、主体的に判断する
- ・多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する
- ・自分のよさや可能性を認識する
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働する
- ・様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる
- ・どのような社会にあっても、生涯にわたって学ぼうとする意欲と自ら未来を切り拓き、社会の変化に主体的に対応できる

国が示す方針や足利市の実態から、求められる力を検討しました

教育基本法

足利学校の
自学自習の精神

学習指導要領

足利市の
教育目標

第3期教育
振興基本計画

本市の
子どもの実態

目指すべき子ども像・求められる学校像

本編 2～4P



今後求められる力を踏まえ、目指すべき子ども像と求められる学校像を教育理念として次のように決めました。

目指すべき子ども像 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 足利っ子」

○具体的な子ども像

- ・目標に向かい、主体的に学ぶ子
- ・多様な価値を認め、共に生きる子
- ・困難を乗り越えられる子
- ・地域社会の一員であることを自覚する子

求められる学校像 「自分のよさや持ち味を、存分に発揮できる学校」

○具体的な学校像

- ・教えるべきことはしっかりと教え、学ぶべきことは根気強く学ばせる学校
- ・児童生徒の姿をしっかりと把握し、認め励ます教育を展開する学校
- ・義務教育9年間を見通し、地域に開かれた中学校区教育(※)を展開する学校

※中学校区教育…中学校区内の小・中学校が義務教育9年間を見通し、系統性、連続性のある教育内容・指導方法を工夫する教育(縦のつながり)。また、学校と家庭・地域とが育てたい子ども像を共有し、一体となって児童生徒たちを育む教育(横のつながり)。これら縦のつながり、横のつながりを重視した教育。

学校教育環境の充実に向けて検討すべき事項

本編 4～5P

目指すべき子ども像、求められる学校像を実現するために特に検討しなければならない事項を決めました。

- 1 教職員の適正な配置
- 2 施設・設備の整備
- 3 学校の適正規模・適正配置
- 4 中学校区教育の推進

今回定めた目指すべき子ども像を児童生徒と向き合うすべての方々に共有していただき、学校、家庭、地域、行政が一体となって、その実現に向けて取り組めるよう、より効果的な教育行政を推進してまいります。

「目指すべき子ども像・求められる学校像の実現に向けて」概要版
作成：足利市教育委員会事務局

